§13　団の年間計画

第２日　15:15～17:00（105分）

|  |
| --- |
| 目　標  参加者は，このセッション終了時に次のことが達成できる。  １．団の年間計画を立案できる。 |

指導上のねらい

１．団の年間計画立案のねらいについて理解させる。

２．団の中長期計画に基づく課題と方法を考えせる。

３．ただ単にスケジュールを割り振るだけでなく、高度な調整作業が必要であることを理解させる。

４．様々な資源を活用する方法があることを知らせる。

指導上の留意点

１．年間計画の果たす役割を確認し共通理解をする。

２．団の任務の確認

§４の振り返り及び書籍「団の運営と団委員会」(Ｐ17～25)の再確認をしてもらう。

３．団の中長期計画の目標に基づき、隊運営に対する団委員会の支援として１年間に取り組むべき課題を具体的な方法を掲げ年間計画に盛り込む。

４．問題点の解決や団が目指す方向を示すために計画がなされることを理解させる。

５．実現可能な計画か、効果的な計画かの評価を行う。

６．ワークシートの作成は、順番に行う。

準備品(資材・資料）

・ハンドアウト「前年度の団事業の状況及び問題点」

・ワークシート①

・ワークシート②

・ワークシート③

・関係書籍

スタッフへの依頼事項

・グループ作業時のアドバイス

セッション展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | セッション内容 | 指導上の留意点・  準備品・支援 |
| 15:15 | １．導入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（5分）  (1) このセッションで何を行うかを確認  ①団の年間計画を立案できる。 |  |
| 15:20 | ２．展開・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（85分）  (1) 年間計画表の必要性  　・団の年間計画には，各隊の計画と団独自の計画がある  　・団独自の計画とは  　　　団の発展を目指すもの  　　　団の問題解決を目指すもの  (2) 計画表が果たす役割  　　・タイムスケジュール  ・予定一覧表(隊、団、地区、県連盟、地域、育成会、その他)  ・外部からの支援プログラム（研修、面接、表彰、団訪問、スカウト行事、ラウンドテーブル）  ・調整表（隊と隊、隊と団、団と地区・県連盟、団と地域）  ・問題解決のプロセス  ・団発展のためのプロジェクト  ・任務分担  　(3) グループ作業  　　①「前年度の団事業の状況及び問題点」より問題・課題を抽出して，ワークシー  ト①を作成する。  　　②解決の目標（あるべき姿）を達成するための事業計画を策定して，ワークシー  ト②を作成する。  　　③ワークシート②で具体的に計画したことを年間計画としてワークシート③を作成する。  　(4) 発表  　(5) 評価と振り返り  　　・他のグループの発表を聞き，振り返りを行う。 | ・前年度の団事業の状況及び問題点  ・ワークシート①  ・ワークシート②  ・ワークシート③ |
| 16:45 | ３．まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（15分）  (1) 団委員会は団内各隊の教育が円滑に進むように、計画的に支援することが必要である。  (2) 計画は、団の将来を見据えた「中長期計画」がベースとなるが、隊活動の年間プログラムに合わせた年間計画が必要となる。  (3) 年間計画とは、団発展のためのプロジェクトであり、問題解決のプロセツであり、隊への支援プログラムである。  (4) 地区や県連盟、コミッショナーやトレーナーなどの外部資源も計画的に活用することにより、より効果が期待できる。 |  |

口述要項

１．導入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（5分）

・皆さんの団では年間計画はどのように作成されていますか。

・団委員会では，前年度の団の活動状況や各隊の活動を評価し，年間計画を立案します。

・また，各隊活動を確実にするための各種支援もその中に含まれます。

・団の中長期目標に基づく計画も盛り込んでいきます。

・これらをまとめたのが団の年間計画です。

・では，このセッションで何を学ぶかですが，

団の年間計画を立案できる。

２．展開・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（85分）

(1) 年間計画表の必要性

　・団の年間計画には，各隊の計画と団独自の計画があります。

　・各隊の計画はスカウト教育のための計画です。団は隊の計画に対応した支援をしていきます。

・隊運営への支援は，どうしても，短期（プログラム展開時）の人的，物的の供与を中心として考えられる傾向にあります。しかし，例えばハイキングの安全確保のための団委員の派遣などは，隊指導者を確保し養成することで，短期的な支援はカバーすることができます。

　・団独自の計画とは

　　　団の発展を目指すものです。

　　　　募集，人材確保，資金確保，地域との連携等

　　　団の問題解決を目指すものです。

　　　　指導者育成、安全管理、人材確保等

・例えば，隊指導者不足という問題の解決は，団が計画的に実施する人材確保と育成のプロジェクトと考えると，年間計画への掲載の必然性が理解できると思います。

(2) 計画表が果たす役割

　・計画表はどのような機能を持っているのでしょうか？　○○さんどうですか。→　ホワイトボードに記入していく。

　　　　　タイムスケジュール

予定一覧表(隊、団、地区、県連盟、地域、育成会、その他)

外部からの支援プログラム（研修、面接、表彰、団訪問、スカウト行事、ラウンドテーブル）

調整表（隊と隊、隊と団、団と地区・県連盟、団と地域）

問題解決のプロセス

団発展のためのプロジェクト

任務分担

　　・などがありますよね。

　(3) グループ作業

　　①「前年度の団事業の状況及び問題点」より問題・課題を抽出して，ワークシート①を作成する。

　　・それではこれから，団の年間計画を作成しいただきます。

　　・この作業はグループで行ってください。

　　・まず，配付した「前年度の団事業の状況及び問題点」より問題・課題を抽出して，ワークシート①を作成して下さい。

　　・時間は25分です。

　　②解決の目標（あるべき姿）を達成するための事業計画を策定して，ワークシート②を作成する。

　　・では時間です。次に，抽出した問題・課題をもとに，解決の目標（あるべき姿）を達成するための事業計画を策定して，ワークシート②を作成してください。

　　・時間は25分です。

　　③ワークシート②で具体的に計画したことを年間計画としてワークシート③を作成する。

　　・では時間です。次に，作成した事業計画をもとに，団の年間計画をワークシート③に作成してください。

　　・時間は25分です。

　(4) 発表

　　・では，発表してもらいます。各班5分間で発表して下さい。

　（解説を加える）

　　・実際には、単年度で終わるものではなく長期間にわたる計画の実施が求められます。

(例指導者研修への参加　ＢＳ講習会⇒研修所⇒実修所)

・指導者の養成には，定型外訓練の他に様々な機会を得て学ぶ機会の提供により，学習意欲の喚起が必要です。

・年間計画を作成すると，様々な行事によって日程が埋まってしまうことがわかると思います。団委員会の役割は，これらを調整していくことにあります。

　(5) 評価と振り返り

　　　・他の班の発表をもとに，自分の班の年間計画の修正をしてください。（5分程度）

３．まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（15分）

・団の年間計画は，団が成長していくために作られるものである。前年あるいは数年の懸案事項を解消していくために，計画的に組み立てられるものです。但し，団は，各隊支援をしていく役割もあるので，各隊計画に沿って組み立てられる必要があります。

(1) 団委員会は団内各隊の教育が円滑に進むように、計画的に支援することが必要である。

(2) 計画は、団の将来を見据えた「中長期計画」がベースとなるが、隊活動の年間プログラムに合わせた年間計画が必要となる。

(3) 年間計画とは、団発展のためのプロジェクトであり、問題解決のプロセツであり、隊への支援プログラムである。

(4) 地区や県連盟、コミッショナーやトレーナーなどの外部資源も計画的に活用することにより、より効果が期待できる。